

大切なお金の使い道



平成16年度 決算報告

平成17年9月議会で認定されました、平成16年度一般会計、特別会計、水道事業会計の決算をお知らせします。

一般会計と全ての特別会計を合わせた決算額は、歳入が192億8,422万6,708円、歳出が183億4,081万3,626円です。

その内、一般会計の決算額は、歳入が116億5,630万2,098円で、前年度と比較して18億4,352万835円の増、歳出が110億5,376万7,173円で、前年度と比較して15億9,837万4,291円の増となりました。

【 会計別決算集計表 】

会計別		歳入	歳出	差引残高
一般会計		116億5,630万円	110億5,377万円	6億 253万円
特別会計	国民健康保険事業	24億3,902万円	22億5,436万円	1億8,466万円
	老人保健事業	19億7,443万円	19億2,417万円	5,026万円
	介護保険事業	10億8,362万円	9億9,304万円	9,058万円
	公共下水道事業	12億2,011万円	12億1,067万円	944万円
	上三川霊園造成事業	730万円	658万円	71万円
	農業集落排水事業	8億9,526万円	8億9,003万円	523万円
	用地先行取得事業	818万円	818万円	0円
水道事業会計	収益的収支	10億3,605万円	4億4,924万円	5億8,681万円
	資本的収支	1億9,762万円	7億4,639万円	△5億4,876万円

●次に一般会計の内容について、お知らせします●

主な事務事業

中心拠点施設整備事業	1億9,515万円	道路・橋梁維持事業	1億 695万円
障害者支援費制度	1億6,027万円	道路新設改良事業	3億3,720万円
児童手当等給付事業	1億6,418万円	交通安全施設整備事業	3,099万円
児童医療費等助成事業	8,346万円	富士山地区市街地整備事業	1億3,619万円
保育所運営費委託事業	2億2,243万円	消火栓設置事業	1,732万円
予防接種・母子健康教育事業	4,869万円	小中学校インターネット整備事業	2,246万円
老人保健事業（検診等）	6,580万円	小中学校施設整備事業	4億8,921万円
クリーンパーク茂原運営事業	1億6,454万円	体育施設改修事業	1億 492万円
首都圏農業推進事業	1,663万円		

歳入 ※ () 内は対前年度比を表しています。

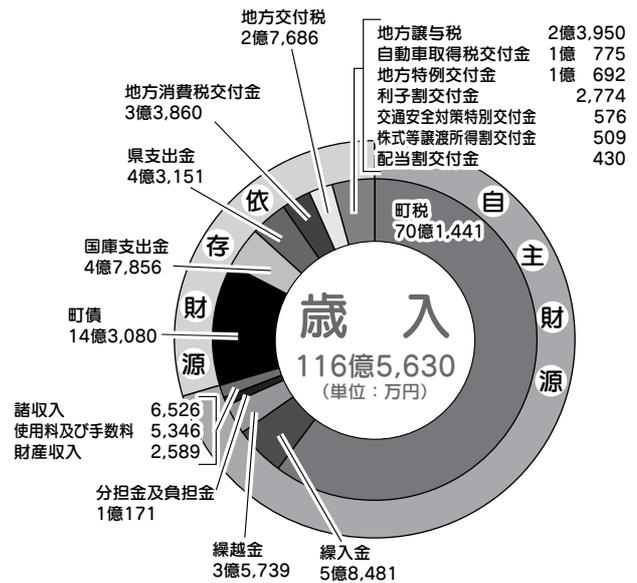
前年度と比較して、町税は、法人町民税の収入額が大きく伸びたことなどにより、22億723万円(45.9%)の増額となりました。

また、地方譲与税が5,929万円(32.9%)、地方消費税交付金が3,178万円(10.4%)の増額となり、保育所広域利用負担金の増加などにより、分担金・負担金も666万円(13.4%)の増額となりました。

一方、地方交付税は、町税収入額等が増加したことなどで、1億9,944万円(41.9%)の減額、国庫支出金が、教育費負担金などの減少により1億936万円(18.6%)の減額となりました。

町債については、最終処分場建設事業の借入減により26.4%減少しました。

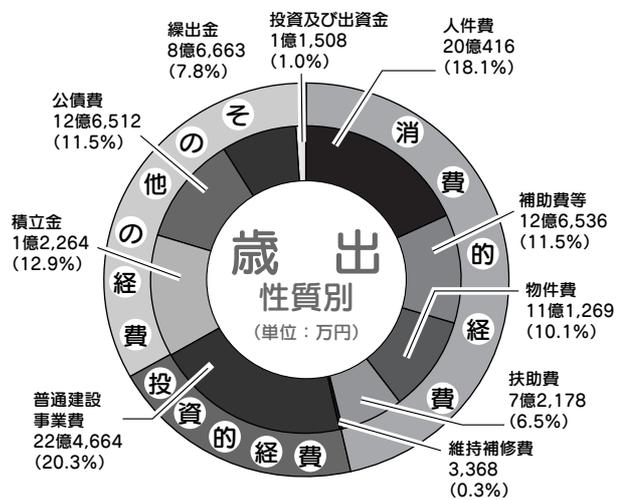
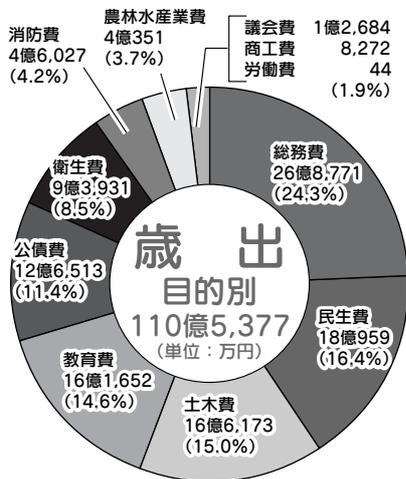
歳入の構成比の状況は、町税60.2%、町債12.3%、繰入金5.0%の順です。



歳出

歳出を目的別に分類した状況は、総務費が基金の積立により、民生費が障害者支援費制度などによりそれぞれ増額となり、構成比の順位は、総務費24.3%、民生費16.4%、道路整備事業で増加があった土木費が15.0%となっています。

歳出を性質別に分類した場合には、普通建設事業費は、小学校校舎の大規模改修事業の減などにより前年度に比較して10.7%減少しましたが、全体の20.3%を占め、人件費18.1%、積立金12.9%と続いています。



用語説明

- 一般会計…町の会計の中心をなすものであり、行政運営のための基本的な経費を経理する会計
- 特別会計…特定の事業を行うために、特定の歳入、歳出を一般会計と区別して経理するための会計
- 目的別歳出…経費を行政目的別、つまり、仕事の内容によって分類したもの
- 性質別歳出…経費を経済的性質によって分類したもの
- 自主財源…町が自主的に収入することのできるもの
- 依存財源…国や県の決定や許可等により、交付されたり割り当てられたりするもの
- 消費的経費…経費支出の効果が短期間で終わり、後年度に形を残さない性質のもの
- 投資的経費…経費支出の効果が資本の形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出されるもの

